

医者がすすめる専門病院【東北版】に当院が掲載されました



医者がすすめる専門病院【東北版】

中村康生／編集

出版社名 ライフ企画

出版年月 2010年11月

●病院ガイドの決定版

東北・北海道の専門医 291 人にアンケート、基準票

を獲得した東北 6 県 219 病院 645 科を収録

外 科

十和田市立中央病院 外科(消化器外科、乳腺外科、一般外科)	
所在地 青森県十和田市西十二番町 14-8	☎ 0176-23-5121
スタッフ 杉田純一外科部長☆(消化管外科、腹腔鏡外科)、阿部永科長☆(肝胆膵外科、腹腔鏡)、設楽英樹科長☆(一般外科)、小田聡科長☆(肝胆膵外科)、福田臨太郎医員(一般外科)ら常勤医 5 人。	
特色 上十三地域 2 次医療圏の中核病院として、がん治療や救急医療に重点を置いている。がん治療においては、手術だけでなく化学療法や放射線治療、緩和医療を含めた集学的治療を念頭に置き、患者さんにやさしい治療を行っている。救急医療分野では、炎症性疾患、外傷、急性腹症などに対し、安全かつ最新の治療を心がけ対応している。	
症例数・治療・成績 09 年の全身麻酔下手術症例数は 419 例★胃がん手術 33 例。5 年生存率：IA 期 85%、IB 期 84%、II 期 56%、III 期 42%、IV 期 6%。内視鏡治療が増加しているため、相対的に進行度の高い症例が増えているが、腹腔鏡手術など縮小手術にも積極的に取り組んでいる★大腸がん手術 68 例、うち腹腔鏡手術 18 例。5 年生存率：I 期 95%、II 期 76%、IIIA 期 70%、IIIB 期 44%、IV 期 16%。腸閉塞症例、下部直腸がん症例以外は積極的に腹腔鏡手術を施行している。また、下部直腸がんに対しトモセラピーを取り入れている★肝臓がん 8 例、おもに転移性。原発性肝がんに対しては、手術のほか、動脈塞栓術(TAE)、ラジオ波焼灼術(RFA)などを施行している★膵・胆道がん 8 例、近年膵頭十二指腸切除術症例が増加傾向である。術前術後や進行再発がんに対し、化学療法を施行している★がん以外でも胆嚢摘出術 84 例、うち腹腔鏡手術 79 例。急性虫垂炎、腸閉塞、急性腹症、外傷、ヘルニア、痔核などの手術を施行している。その他、乳がん手術は 35 例であった。	
医療設備 CT、MRI、血管造影、トモセラピー(放射線治療装置)、鏡視下手術機器、ハーモニック・スカルペル、リガシュアーなど。	
外来診療 月～金。受付は、午前 8 時 30 分～11 時 30 分。主担当医：月＝小田、火＝阿部、水＝設楽、木＝杉田、急患は随時診察。	

脳神経外科

十和田市立中央病院 脳神経外科

所在地 青森県十和田市西十二番町 14-8 ☎ 0176-23-5121


スタッフ 赤坂健一診療部長、田畑英史脳神経外科科長他、脳神経外科専門医 1 人、研修医 1 人、非常勤脳神経外科専門医；畑中光昭。

特色 県南部の上十三地区医療圏で、対象人口約 18 万人の地域中核病院として、脳卒中を中心とした診療に当たっている。電子カルテの導入、トモセラピーによる脳腫瘍の治療、診断・治療機器設備の充実、医師不足に対しては脳卒中医療連携パスの導入により他医療圏、周辺医療機関との連携に取り組んでいる。放射線技師、臨床検査技師、薬剤師の当直体制が整備され、MRI の 24 時間利用体制が整っている。

症例数・治療・成績 病床数 48 床、年間入院患者数 750 ～ 800 人、年間手術件数 170 ～ 200 件★治療内容 = t-PA を用いた脳梗塞の超急性期血栓溶解療法。脳動脈瘤(破裂、未破裂問わず)の手術、脳内出血に対する手術(開頭血腫除去術・定位的血腫除去術・内視鏡手術)、頭部外傷の緊急手術、脳梗塞に対する手術(頭蓋内・外バイパス術・頸動脈血栓内膜剥離術)、脳腫瘍の摘出術・術後放射線治療・化学療法など、三叉神経痛、顔面けいれんの神経血管減圧術、正常圧水頭症に対するシャント手術。脳血管内治療は脳動脈瘤コイル塞栓術・頸動脈ステント留置術などを専門医とタイアップして施行。リハビリは発症早期から土日リハビリを含めて施行★脳卒中発症予防対策 = ①くも膜下出血発症予防目的で未破裂脳動脈瘤の診断・治療を積極的に行う。②脳梗塞発症予防に関して、定期的な MRI 検査・診断、頸動脈エコー、四肢血圧測定(PWV、ABI)の利用による動脈硬化の診断。③脳出血には自己血圧測定の周知徹底。④脳ドックで、脳疾患の啓発に努める。

医療設備 MRI(1.5T)、MDCT 2 台、3DDSA、SPECT、トモセラピー(放射線治療装置)、手術顕微鏡(蛍光撮影)、定位脳手術装置、神経内視鏡、超音波吸引装置、術中超音波診断装置、テレパソ、画像伝送システム他。

外来診療 月・火・木・金の午前。水は休診。救急は常時 24 時間体制で受け入れている。



赤坂 健一
1968 年生まれ。
弘前大学大学院
修了

メンタルヘルス科

十和田市立中央病院 精神神経科

所在地 青森県十和田市西十二番町 14-8 ☎ 0176-23-5121


スタッフ 谷地森康二診療部長、竹内淳子診療部長、河田祐子診療科長(精神保健指定医 3 人、専門医 3 人)、精神保健福祉士：赤崎恵美、臨床心理士：漆畑輝映。

特色 地域から求められる中核的総合病院の精神科医療(急性期医療、救急医療、合併症、児童思春期)を中心に早期治療、早期退院、社会復帰に努めている。特に地域の社会資源の利用、連携を通じた早期退院(平均在院日数：約 60 日)が特徴である。物忘れ外来、発達障害の専門外来、発達障害、アルコール症の家族教室を行っている。当院で力を入れている緩和医療においては医師、心理士が緩和ケアチームの一員として積極的に関与している。また医療観察法指定通院機関として、地域の司法精神医療の役割に就いている。

症例数・治療・成績 精神科急性期治療病棟(閉鎖)の 50 床。09 年度入院者 209 人、退院者 190 人。平均在院日数：約 60 日、外来 1 日平均：60 人。入院治療では医師および多職種でのチーム医療を行い、精神保健指定医、臨床心理士の精神療法、薬物療法(新薬での単剤化を重視、薬剤師による薬剤指導)、社会生活技能訓練(SST)、認知行動療法を用いた服薬教室等を行っている。入院中からの地域のデイケアの体験利用、退院後の訪問看護も可能。外来では本人の受診ができない場合、家族のみの相談にも応じている。保健所の精神保健相談、市の保健センターで心の相談を行うなど、地域に相談窓口を設け、心の健康の普及を行うとともに精神疾患の早期発見、早期治療に結びつけている。また治療のみならず、社会生活や就労に適應するための社会適応訓練事業、就労支援事業等の職業リハビリテーションの分野にも力を入れている。

医療設備 CT、MRI、MRA、VSRAD、SPECT、脳波など、ほとんどの検査が可能。心理士による心理検査、カウンセリング、プレイセラピーが可能である。

外来診療 月～金。初診・再診ともに予約制。新患は基本的には紹介状があることが望ましいが、紹介状が入手困難な場合はなくても応じている。



谷地森 康二
1965 生まれ。
弘前大学医学部
卒